

新型コロナワクチン接種関連情報

※9月12日現在の状況に基づく内容です。

接種の予約や変更、キャンセル →

予約センター ☎050-5445-4355

接種に関する相談 →

相談センター ☎050-5577-2804

午前9時～午後7時

※土日祝日も対応。

オミクロン株対応ワクチン接種開始

9月27日から、高齢者や重症化リスクが高い方などから追加接種(3～5回目)での使用を開始しました。10月半ば以降には2回目接種を終えた12歳以上の皆さんへの接種が始まります。

接種券を手元に準備したら、オンライン予約か予約センターへの電話で予約してください。

※初回接種(1・2回目)は、従来のワクチンを引き続き使用します。

■ ワクチンを受けるためには

区 分	3回目	4回目	5回目
60歳以上の方	接種券が既に送られている方はそのままご使用ください。手元に無い方は再発行を申請(申請先: 相談センター☎050-5577-2804)してください。	新たに接種券を送付します	新たに接種券を送付します。
18～59歳で基礎疾患・重症化リスクがある方			
医療従事者、高齢者施設従事者など			
上記以外の12歳～59歳の方		新たに接種券を送付します	—

5～11歳の3回目接種開始

接種券は2回目接種から5カ月が経過する少し前に送付しています。接種券が届いたら予約できます。

インフルエンザワクチンとの同時接種が可能になりました

ほかの予防接種はコロナワクチンの接種と前後13日以上空ける必要があるのでご注意ください。



オミクロン株対応ワクチン、5～11歳の接種それぞれの意義

市新型コロナワクチン接種対策アドバイザー
みしま ひろし
医師 三島 博さん

新たなワクチンや区分の接種開始に向け、その意義などを伺いました。

—オミクロン株対応ワクチンの意義は？

接種後6カ月程度経過するとワクチンの効果が低下してくるので、効果を回復させる目的で追加接種を行います。今回の追加接種用ワクチン(オミクロン株対応ワクチン)は、今流行しているオミクロン株に対しての高い重症化予防効果に加え、持続期間は短いかもしれませんが感染予防効果や発症予防効果も期待できるとされています。

—3回目や4回目を接種済みですぐには新しいワクチンを受けられないのですが、大丈夫ですか？

ウイルスそのものの起源は同じなので、従来型のワクチンでも効果は期待できますが、時間の経過と共にワクチンの効果が低下するので、一定の間隔(概ね5カ月)。ただし、ノババックスの接種間隔は6カ月)で間を空け過ぎずに接種することが大切です。

—5～11歳が3回目を受ける意義は？

大人であれ子どもであれ、初回接種から時間が経過す

るとワクチンの効果は低下するので、これを回復させるために追加接種(3回目)が必要になります。

—5～11歳で未接種の方に伝えたいことはありますか？

日本小児科学会は、基礎疾患のある小児への接種は主治医と養育者などで接種後の体調管理などにつき事前によく相談することが望ましいと考えています。さらに、健康な小児への接種は「意義がある」としていたのを、8月になって「すべての小児に新型コロナワクチン接種を推奨します」という考え方に変更しました。

理由としては、最近の国内外で蓄積されたデータでは、小児の陽性者数の急増に伴い以前は少数だった重症例と死亡例が増加しており、それが基礎疾患のない小児にも及んでいること、また5～11歳用ワクチンの副反応の調査では、12歳以上と比較しても少ない報告結果だったことが挙げられます。小児の重症化リスクを減らすためにも、改めて家族で相談されて、早めの接種をご検討ください。

最新情報は市ホームページをご覧ください

福島市 新型コロナワクチン

検索

